

育

成

会

報

発行日 ● 2023年2月16日 **第64号**
発行責任者 ● 境地区手をつなぐ育成会
会長 戸塚 和市
事務局 ● 社会福祉法人 桑の実福祉会
Tel. 0270-74-0811

ごあいさつ

境地区手をつなぐ育成会 会長
戸塚 和市



令和4年度境地区手をつなぐ育成会会報発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

境地区の皆様には、本年度も境地区手をつなぐ育成会の活動に深いご理解のもと、「ふれあい募金」にご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。この貴重な募金を活動源として私たちは障害福祉の増進と発展に努力してまいります。

育成会は、令和4年6月23日(木)に境地域福祉センター多目的ホールにて対面により役員会を開催しました。令和3年度事業報告・決算報告・会計監査、ならびに令和4年度事業計画案・予算案・役員改選案について全員の同意がありました。これをもって役員会の決議があったものとし、遅くなりましたが会報にて報告いたします。未だに群馬県内でも新型コロナウイルス感染症は猛威をふるい、日々不安と緊張の中で過ごしています。収束は見通せず、今冬は、季節性インフルエンザとコロナの同時流行が懸念され、さらなる感染予防への配慮が必要となりそうです。

さて、今年度も残りわずかとなりましたが、私たちは、事業計画を基に、感染状況を鑑みコロナ禍におけ

る育成会のあり方についてどのような活動(社会的貢献)、地域への支援が出来るのかなど考え、もし実施が困難な場合は検討し、事業を進めてきました。その中で、育成会として令和4年11月29(火)に境総合文化センターにて「星に語りて」という映画を上映し、12月中には境地区各関係団体、学校関係の皆様へ衛生用品の配布を行いました。

現在も知的障害者を取り巻く状況には、福祉医療制度に含まれない人たちの医療費負担、本人の経済的困窮、家族の経済的負担、親亡き後の不安など様々な課題があります。

育成会としては、現場(地域)での小さな“声”を各行政機関に持続的に発信していき小さな“声”が大きくなるように、その“声”に耳を傾けてもらえるように、役員を含めた関係者で可能な限り努力していきたいと考えております。

これからも各関係機関・団体と親密な関係を保ち、知的障害児者の教育と福祉の振興につとめ、住み慣れた地域の中で支え合い、誰もが安心して暮らせる社会を目指していきます。引き続き、境地区手をつなぐ育成会事業に温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。終わりに、区長会、民生児童委員協議会、地域ボランティアの皆様、事務局「くわのみ」の皆様、大勢のご協力者の皆様の健康と安全をご祈念してご挨拶と致します。



令和4年度 ふれあい募金のお礼

今年度もご協力ありがとうございました。

頂いた募金額 **1,692,200円**

このうち半分は、境地区手をつなぐ育成会の活動資金とさせていただきます。



真の共生社会の実現に向けて

境地区区長会長 石原 純一

皆さんこんにちは。境地区区長会長をしております石原純一でございます。会報の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナ感染が広まってからはや三年が経過しました。この間、私達の生活は様々な制約を余儀なくされました。コロナ前の当たり前の日常が遠い昔のように感じられます。

そうした中ですが、徐々に色々な場面で日常が戻りつつあります。今後は、コロナ感染に注意しながらも少しずつ前に進めていければと思います。

先日、車椅子テニスのレジェンド国枝慎吾さんが引退を表明し世界を驚かせました。九歳の時に車椅子生活になり、十一歳の時に車椅子テニスと出会ったそうです。その後の努力で世界のトップに昇りつめて、長い間その地位を維持してきました。国枝さんの理想は「パラスポーツの枠を超える」事だったそうです。つまり障害という逆境を意識させないようにする事だったようです。「共生」という呼び方がなくなるような社会にしたいと考えているのだと思います。国枝さんの描くような社会を実現する為に私達に何ができるのか考えていきたいものです。

今後とも皆様の物心両面でのご支援・御協力をお願い申し上げます。

「星に語りて」映画会 報告

令和4年11月29日(火)育成会役員、区長会、民生児童委員協議会、境ボランティア連絡協議会の皆様、くわのみの利用者様に参加していただき、境総合文化センター小ホールで「星に語りて」の映画会を開催しました。当日は、伊勢崎市臂泰雄市長様にもご来場いただき、鑑賞の様子をブログにも紹介していただきました。

この映画は、きょうされん40周年映画として制作された映画です。舞台は、2011年3月11日東日本大震災の岩手県陸前高田市でした。障害者の状況と支援者の活動を描いた作品になっています。この映画では、震災時に障害のある方々が置かれた環境や状況、それを支える支援者の心情、行政の個人情報開示の問題などが描かれていました。多くの方々に見ていただきたい映画です。



一般上映予定

2月11日(土)～3月3日(金)

会場:前橋シネマハウス

前橋市千代田町5-1-16
アーツ前橋 3階

休館日:毎週火曜日

料金:一般 1,700円

(前売り1,300円)

シニア(60歳以上)1,000円

障害者の方 1,000円

* 上映時間、チケットなどの詳細についてはくわのみまでお問合せください。



本人メッセージ

みんなの思い

くわのみ 岡崎 千恵乃

私は、土曜日にいこいの里デイサービスに行っています。そこで、脳トレーニングをしたり、計算をしたり塗り絵をしたりしてとても楽しいです。あとは、いろんなゲームをしたりしています。

くわのみ 下山 孝徳

僕は、毎日送迎車に乗ってくわのみにくるのが楽しいです。これからもよろしくお願いします。

くわのみ 森田 一枝

くわのみに入って6年目になりました。コロナでお墓参りに行けないのでくわのみの職員の人がお墓参りに連れて行ってくれました。それから私が、初めて入院した時、職員の人にお世話になりました。世話人さんにもお世話になりました。今、コロナでどこにも行けないのでホームで編み物をしたりコースターを作ったり楽しんでいます。毎日ホームで世話人さんにおいしいご飯を作っていただいています。はやくコロナが落ちついてほしいです。そしてくわのみでおまつりをしたいです。そしてどこかに旅行に行きたいです。楽しみに待っています。それから夏は暑いので送迎をしてもらっています。くわのみに来るのが好きです。むりしないように頑張りたいです。

作業所利用者

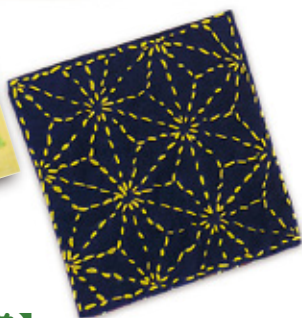
私は、桑の実福祉作業所でお仕事をさせてもらっています。お仕事の内容は、シール貼りや部品の袋詰め、公園清掃等です。職員さんや一緒に働いてくれる利用者さん達のおかげで楽しく過ごせています。最近、身体の不調や精神面の不安定さで心がやられてしまってあまりお仕事に行けていませんが、今後は毎日行けるようになったり、長時間働けるようになりたいです。

作業所利用者

作業所でお仕事をしています。その日によって仕事が少ない日も多い日もあるけどみんな協力して頑張っています。お給料をもらうとその月にどれだけ仕事をしたかを感じます。お給料は欲しい物が出てきた時の為に使わないでとってあります。時間がある時は録画した番組を見たりラジオを聞いたり動画を見たりしています。音楽を聴いたりしています。好きな音楽は沢山ありますが日本のグループと韓国のグループはよく聞きます。音楽だとティラースウィフトを聞きます。

作業所利用者

コロナの影響で外出を控えてますが、外食をするのが好きで、行きたいという気持ちがありますがこちらコロナの感染の恐れがある為、できない状態です。しかし、最近家の近くにクレープ屋ができたのですが、自分の好物はスイーツで特にクレープが好きなのでとてもうれしく早速行ってきました。値段も安く、美味しかったのでまた行ってみたいです。今後もうそういったスイーツ店が出来てくれると嬉しいです。次は、パフェのテイクアウトが出来るお店が出来たらうれしいです。



御礼【衛生用品の寄贈】

境采女小学校長 青野 和彦

この度、境地区手をつなぐ育成会様より、境地区の関係団体、各学校に対し、不織布マスク、手指消毒用アルコール、ペーパータオルを寄贈していただきました。新型コロナウイルス感染症の対策を継続していかなければいけない中で、大変助かります。

今後の感染症対策に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



令和4年度 事業計画

障害を持つ人も、持たない人も同等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念は社会に浸透したかのように見えますが、知的な障害を持つ人が日常的に活動できる場所や機会は、依然として限られているのが現状です。障害者に対する政策を後退させた障害者自立支援法から「障害者総合支援法」に変わっても法律の骨組みは変わらず、障害を持つ人たちをとりまく環境の厳しさは続いています。知的障害(児)者が、「地域で育ち」、「地域で適切な教育を受け」、「地域で暮らし」、「地域で活動し」、「地域で働く」というあたりまえの権利さえ、手に入れることが難しくなりつつあります。このような厳しい時代に、境地区で生活する知的障害(児)者を、同じ時代を生きる隣人として支え合い、助け合うために次の事業を推進します。

- 令和4年度役員会 6月23日(木)午後4時から
会場:境地域福祉センター
- 役員視察研修会
期 日:下半期に開催できなければ中止
視察場所:未定 対象者:育成会役員、保護者等
- 日帰りわくわく体験事業の開催[40名程度予定]*内容未定
対象者:特別支援学級児童生徒、就労者、くわのみ・桑の実福祉作業所、まゆ通所者等
期 日:下半期に開催できなければ中止
- 啓発宣伝活動(会報の発行)
年2回発行・活動内容の報告等
- 産業祭で「みんなにんげん!つながりフェスティバル」の開催
(境地区手をつなぐ育成会・桑の実会・やよい福祉会3団体の共催)
*コロナ禍の為中止
- クリスマスパーティ
12/15(木)レクリエーション活動として実施
- もちつき大会 *中止
期日:例年は1月の第三土曜会場:境地域福祉センター
- 卒業生を励ます会
期 日:2月中旬
境地区の小中特別支援学級・伊勢崎特別支援学校の卒業生対象
*実施の可否は学校の判断に委ねる
- 福祉作業所、デイサービスセンター、障害福祉サービス事業所「くわのみ」への協力
- 境地区手をつなぐ育成会主催の本人活動支援事業の開催
余暇活動・社会参加活動等 *開催可能な状況でなければ中止
- 境地区手をつなぐ育成会への理解を深めることを目的とする事業の開催 *開催可能な状況でなければ中止
学齢期の子をもつ親を対象とした、おしゃべり会 ほか
- 群馬県手をつなぐ育成会などの団体が行う事業への積極的参加
県育成会大会・全国大会・福祉パレード・スポーツ大会等への参加
開催可能な状況でなければ主催者が中止の判断をする場合あり
- 手をつなぐ育成会 群馬県大会 7月17日(日)
群馬県前橋市 オンラインで開催
- 手をつなぐ育成会 全国大会 11月20日(日)
福井県福井市 オンライン配信と会場参加型の組み合わせで開催
- 関東甲信越ブロック大会
開催地:長野県・ホクト文化ホール(長野県民文化会館)
- 福祉パレード・福祉集会
令和4年度担当:県育成会
開催方法:福祉パレードは中央集会のみ実施 *福祉集会は中止
- 障害者スポーツ大会 9月25日(日)
場所:県立ふれあいスポーツプラザ
- 保護者研修会 未定
- 知的障害(児)者が、「地域で育ち」、「地域で適切な教育を受け」、「地域で暮らし」、「地域で活動し」、「地域で働く」という当然の権利を守るために必要な事業及び支援活動

育成会 研修会 12月3日(土)

群馬県手をつなぐ育成会研修「親なき後を考える講演会」をオンラインで育成会役員、くわのみの保護者の皆様にも参加していただき開催いたしました。



令和3年度 事業報告

- 6月 令和3年度役員会 中止〔書面決議〕
- 7月 役員会視察研修会 中止
手をつなぐ育成会群馬県大会 7月11日(日)
〔オンライン配信にて実施〕
- 9月 福祉パレード 9月7日(火)(代表者20名が参加)
〔県庁でのオンラインを活用した中央集会として開催〕
第63号 育成会報発行
〔9月16日発行・境地区全戸配布〕
障害者スポーツ大会 中止
- 10月 境福祉バザー協力 中止
- 11月 みんなにんげん! つながりフェスティバル 中止
- 12月 クリスマス会 中止
- 1月 もちつき大会 中止
- 2月 群馬県手をつなぐ育成会社会活動推進事業 中止
後期役員会・情報交換会 中止
- 2月中旬から3月初旬 卒業生を励ます会〔各学校で実施〕

令和3年度 収入・支出決算報告

[収入]	[支出]
ふれあい募金 810,400円	会議費 0円
補助金等 0円	旅費 10,000円
負担金等 0円	需用費 8,470円
雑入 12円	印刷費 290,000円
繰越金 871,065円	行事費・研修費 42,800円
合計 1,681,477円	大会参加費 0円
	慶弔費 5,000円
	負担金等 9,000円
	予備費 0円
	合計 365,270円



令和4年度 境地区手をつなぐ育成会役員

- 会長 戸塚 和市
- 副会長 澁澤 栄(境地区区長会)
- // 石原 純一(剛志地区区長会)
- // 石倉 正(采女地区区長会)
- // 小暮 通佳(島村地区区長会)
- // 内田寿美枝(東地区区長会)
- // 古田眞樹子(桑の実会会長)
- 会計 松島 徳一(地域ボランティア)
- // 石井 芳江(地域ボランティア)
- 書記 富田三輝夫(桑の実会)
- // 中村 敬一(民生児童委員)
- 監事 萩原 卓郎(元会長)
- // 長沼 重男(桑の実会)
- 理事 岩井 丘江(民生児童委員)
- // 稲川 文夫(民生児童委員)
- // 天田眞里子(民生児童委員)
- // 船戸 寛(民生児童委員)
- // 小島 辰雄(民生児童委員)
- // 山本新四郎(地域ボランティア)
- // 中塚 美子(地域ボランティア)
- 顧問 石井 昭安(前会長)
- // 青野 和彦(境采女小学校長)
- // 吉岡 昭一(桑の実福祉会理事長)
- // 安藤 恭二(民生児童委員協議会会長)
- // 杉原 啓介(境支所市民サービス課長)
- 事務局長 澁澤 嘉子(くわのみ)
- 事務局員 石田 晴洋(くわのみ)
- // 新井久美子(くわのみ)
- // 武藤 之茂(くわのみ)



あとかぎ

今年度もコロナ禍の中、感染対策等に追われ、1年が早々に過ぎたように思います。活動が制限される中でも、できる活動を考え、地域の皆様と交流できた時には、笑顔にふれ、喜びを感じられる日常を思い出したひと時でした。

育成会の活動は、地域で暮らす障害の方たちを支える事が目的であります。その為にこれからもつながりを大切に当事者の願いを実現できる地域社会作りを今後も活動を行っていきます。

今年度より育成会の事務局をさせていただき事になりました。今後とも地域の皆様の御支援をよろしくお願い致します。(事務局 S)

* 本誌掲載のすべての写真はご本人及びご家族の了解を得ています。